

2024年1月12日

SUBARU 2024年モータースポーツ活動計画について

SUBARU と同社のモータースポーツ統括会社であるスバルテクニカインターナショナル株式会社*1 は、2024年のモータースポーツ活動についての概要を発表しました。



SUBARU BRZ GT300 2023



SUBARU WRX NBR CHALLENGE 2024

■SUPER GT シリーズ

2024年シーズンも引き続きGT300クラスに、SUBARU BRZ GT300で参戦します。

チーム総監督は小澤正弘、チーム運営は「R&D SPORT *2」が担当し、R&D SPORTの澤田稔が監督を務めます。ドライバーは井口卓人選手と山内英輝選手の2名体制で臨みます。

2024年シーズンは、GT300クラスへ導入が検討されているカーボンニュートラル燃料への対応を万全にするとともに、空力性能の向上とタイヤパフォーマンスを引き出すセットアップをより進化させることで、環境性能と走行性能を併せ持つ強いSUBARU BRZで2021年シーズン以来の王座奪還を目指します。

■ニュルブルクリンク 24時間耐久レース

第52回ニュルブルクリンク24時間耐久レース(ドイツ・プファルツ州アイフェル、5月30日~6月2日)のSP4T*3クラスに、SUBARU WRX NBR CHALLENGEで参戦します。

チーム総監督は辰己英治、監督は沢田拓也、ドライバーはカルロ・ヴァンダム選手(オランダ)、ティム・シュリック選手(ドイツ)、佐々木孝太選手(日本)、新たに久保凜太郎選手(日本)を迎えた4名で臨みます。

2024年のマシンは、WRX S4をベースにした2023年参戦車両から、フロントスタビライザーブラケットの締結軸力やエキゾーストマニホールドの構造を見直すことで信頼性の向上を図るとともに、リム形状を最適化した前後異形アルミホイールや各部のエアロパーツのアップデートにより動的性能を進化させ、SP4T*3クラスでの優勝を目指します。

また、今回も全国のSUBARU販売店から選抜された精鋭8名のメカニックがチームに参加し、レースをサポートします。

■全日本ラリー選手権

2024年シーズンは、WRX S4をベースにした車両でシリーズに参戦する新井敏弘選手のチーム運営の一部サポートを行います。昨年途中から投入したニューマシンで今シーズンはフル参戦し、FA24型2.4リッター直噴ターボエンジン、スバルグローバルプラットフォームによるベース車の高いポテンシャルを発揮し、シーズンを通してクラス上位入賞を狙います。

また、各競技会場にて、SUBARU特約店から選抜されたメカニックが協賛選手の競技車両メンテナンスサポートを実施します。

■TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup

昨年同様に、TOYOTA GAZOO Racing に協力し大会運営をサポートするとともに、STI がサービスチームを派遣しSUBARU BRZ Cup Car Basic で参戦するユーザーを支援します。

■スーパー耐久シリーズ

2024 年シーズンは、将来の BEV*⁴ も含めた市販車への技術的なフィードバックを目的とした活動にシフトし、チーム名は昨シーズンに引き続き「Team SDA*⁵ Engineering」で、スーパー耐久シリーズに参戦します。またシーズン途中からは、新マシンを導入し、各種将来技術を織り込みながらレース現場で鍛え、様々な挑戦を続けます。

チーム体制は、SUBARU 技術本部の社員が参画。代表は本井雅人、監督は伊藤奨、ドライバーは井口卓人選手、山内英輝選手と、SUBARU エンジニアが挑みます。



Team SDA Engineering BRZ CNF Concept

*1: スバルテクニカインターナショナル株式会社(代表:平岡泰雄、東京都三鷹市、略称:STI)

*2: 株式会社アールアンドデースポーツ(代表:本島伸次、神奈川県平塚市)

*3: 排気量 2,000cc 以上、2,600cc 未満のターボエンジン搭載車のクラス

*4: Battery Electric Vehicle(電気自動車)

*5: スバル ドライビング アカデミー=SUBARU エンジニアの運転スキルと評価能力を高める人財育成の取り組み

<https://www.subaru.co.jp/outline/about/engineer/>